

平成 29 年 5 月 19 日

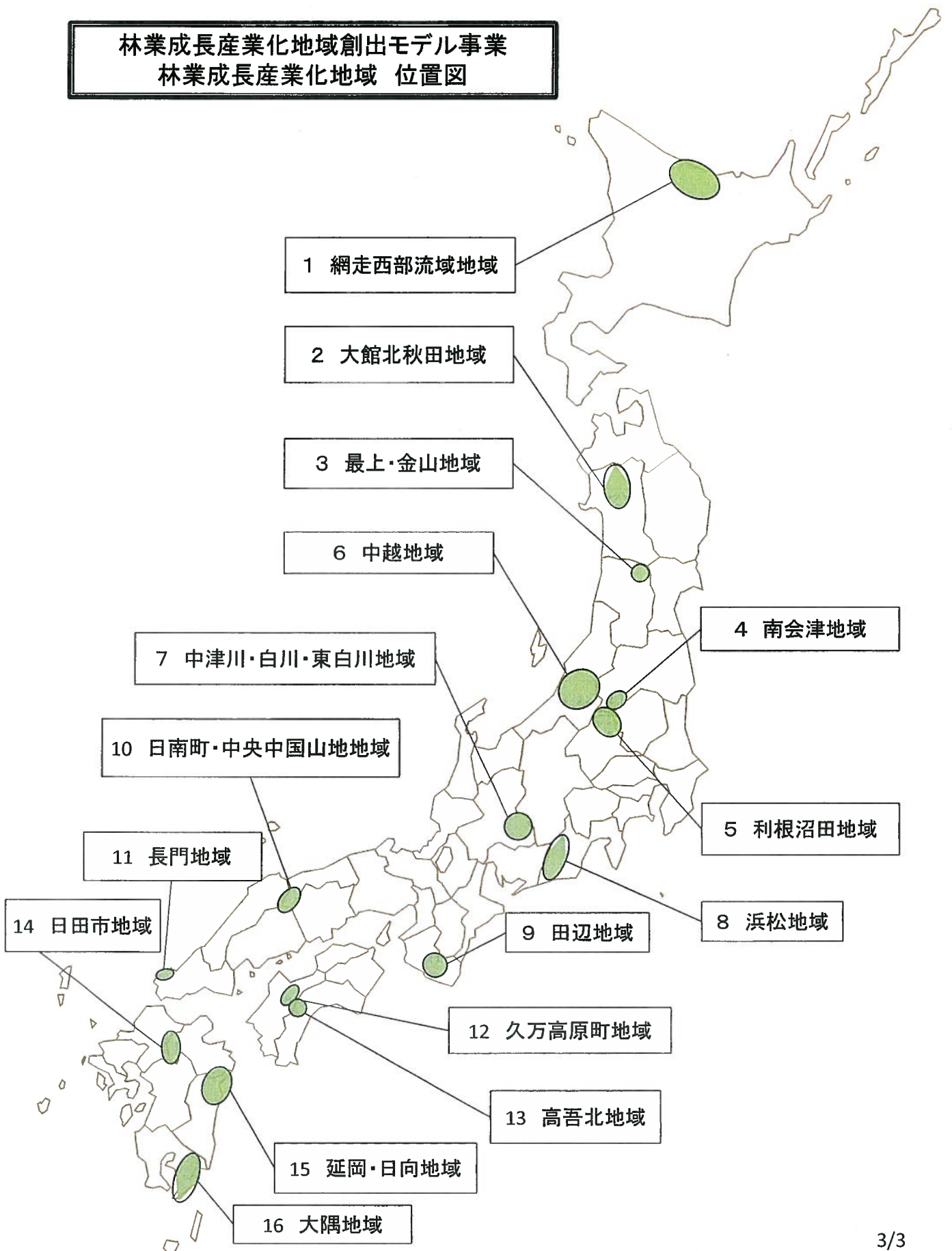
14:00～

岩村振興事務所

木づかいガイドライン作成資料について

- 1 林業成長産業化地域構想について
- 2 29 年度 木づかいガイドラインの活動方針について
- 3 木づかいガイドラインの作成依頼について
- 4 木づかいライブスギダラキャラバン予定について
- 5 木を使った市民参加型プレイスメイキング木づかいライブについて

林業成長産業化地域創出モデル事業
林業成長産業化地域 位置図



林業成長産業化地域創出モデル事業「林業成長産業化地域」一覧

番号	都道府県	地域名	主な取組
1	北海道	網走西部流域地域	豊富な森林認証材を活かし、森林認証材を使うことで企業イメージを高めようとする首都圏の企業に安定的に供給する体制を構築することにより、山元に利益を還元
2	秋田県	大館北秋田地域	秋田スギのブランド力を活かし、産学官協働で新たに家具等の付加価値の高い商品を開発・販売をすることで地域材の需要を増やすことにより、山元に利益を還元
3	山形県	最上・金山地域	ICT等最新の技術を活用した森林データベースを活用して、正確な立木評価と生産性の高い伐採計画により森林所有者に主伐・再造林を提案し、山元に利益を還元
4	福島県	南会津地域	町産材を活用した新たな建築構法による住宅や木造公共施設の整備を通じて優良な地域材の消費拡大を図ることにより、山元に利益を還元
5	群馬県	利根沼田地域	既存の低質材加工体制に加え、低質材を活用して栽培するきのこの道の駅での販売、集成材加工施設の整備により地域の森林資源をフル活用する体制を整え、山元に利益を還元
6	新潟県	中越地域	少雪と多雪地域の事業体が冬季の事業を共有し、年間を通じて木材を安定供給する体制を構築するとともに、豊富な広葉樹材の家具を開発・販売することにより、山元に利益を還元
7	岐阜県	中津川・白川・東白川地域	ブランド材東濃松の復活のため、生産・流通コストを削減した上で、観光宿泊施設の内装材など住宅部材以外の用途や、在来構法の住宅等を海外に輸出することにより、山元に利益を還元
8	静岡県	浜松地域	森林組合の山林購入を推進して集約化を図るとともに、中小企業が連携して森林認証材製品の商品開発を行い、多様な用途による需要の拡大を図ることにより、山元に利益を還元

9	和歌山県	田辺地域	建築士と協定を締結するなど紀州材の無垢材の需要の拡大を図ることにより、山元に利益を還元
10	鳥取県	日南町・中央中国山地地域	町への山林寄付を募って集約化を図るとともに、LVLの不燃化など新機能を有する木材製品の開発・販売や、農業ハウスの暖房に活用することにより、山元に利益を還元
11	山口県	長門地域	市が設立する新法人が所有者から森林経営を引き受けて集約化を進めるとともに、独自商品の全国展開や、これまで現場に放置されていた未利用低質材を市内温泉で活用することにより、山元に利益を還元
12	愛媛県	久万高原町地域	素材生産から製品販売までを一元して取扱う地域総合商社「久万林業本部」を創設し、トータルコストを削減することにより、山元に利益を還元
13	高知県	高吾北地域	地域の関係者が連携して地元の大型製材工場に原木をジャストインタイムで供給できる体制を構築することにより、山元に利益を還元
14	大分県	日田市地域	急増する大径材に対応した加工体制の整備、住宅部材などの商品開発、商品を安定的に販売する需要先を開拓することにより、山元に利益を還元
15	宮崎県	延岡・日向地域	「再造林バンク」の創設と一貫作業システムによる伐ったらすぐ植える仕組みをつくることにより、森林資源を循環利用
16	鹿児島県	大隅地域	地域の事業者がコンソーシアム方式による原木安定供給協定を締結し、原木流通の効率化を図ることにより、山元に利益を還元

プロジェクト企画 一覧

ソフト事業

- ①流域内における森林組合等の担い手育成や技能職員の安全作業・効率化を推進するためのビジュアル系機材を用いた森林・林業教材の開発

VR 機器導入	84 千円/個×40 個	=3,360 千円
教材費製作	20 千円/人×2 人/日×75 日	=3,000 千円
講座開催	50 千円/人×2 人/日・回×3 回/年×5 年	=150 千円
計	6,510 千円 (国費 6,510 千円)	

- ②地域材住宅を普及するための工務店とお施主様に対する住まい講座の開催

講座開催	80 千円/人×2 人/日・回×3 回/年×5 年	=240 千円
資料代	2,000 円/部×60 部/回×3 回/年×5 年	=180 千円
計	4,200 千円 (国費 4,200 千円)	

- ③将来の一次産業の担い手を育成するため、林業等の里山原体験を与える「田舎の親戚制度」の確立と顧客募集のためのPR活動

一括 9,000 千円

- ④森林資源活用の計画的運用を図るために必要な森林経営計画製作ソフトの導入

一式 3,400 千円

- ⑤ジビエを特産品とし、村内人気スポットを創出するためのジビエバーベキュー用機材の購入

10 台 1,500 千円 (ネバーランド)

ハード事業

⑥間伐材搬出及び小面積皆伐による素材生産のアップに向けた高性能林業機械の導入

タワーヤーダ	1	21,000 千円
プロセッサ 0.4 m ³	1	27,300 千円
ラジキャリア	1	3,800 千円
計		52,100 千円

⑦木づかいファンを育成する里山木工教室の導入

木工器具	一式	13,000 千円
節埋加工機	一式	11,500 千円
里山木工教室及び作業室 (5 間×16 間)	一式	32,000 千円
計		56,500 千円

⑧森林資源の特性を活かした災害復興支援住宅等根羽スギオリジナルモデル住宅の建築

災害復興支援住宅 9 坪ハウス	10,000 千円	(体験宿泊・シェアハウス)
南信州 5 寸角の家	23,000 千円	(体験宿泊・シェアハウス)
板倉構法の家	31,400 千円	
計	64,400 千円	

⑨里山地域を木づかい市場とするためキットハウス、循環式トイレ、ツリーハウス、サウナ、水辺環境施設、木のアイテム等の開発導入

トレーラーハウス	1 棟	5,000 千円
キットハウス	10 棟	7,000 千円
循環式トイレ	5 棟	25,000 千円
シャワー付トイレ	1 棟	30,000 千円
ツリーハウス	1 棟	5,000 千円
オートキャンプ場整備		15,000 千円
計		87,000 千円

⑩水源が体感できる森林学習道の開設と樹下植栽・樹下山菜園整備

2,000 円/m×12,000m	一式	24,000 千円
-------------------	----	-----------

2 平成 29 年度 木づかいガイドラインの活動方針について

- ① 平成 26 年度に作成した提案型「木づかいガイドライン さあ~しよう」の原案を基本に、各提案項目について提案が可能なものから順次提案者へ原稿を依頼して作成業務を行う
- ② 「木づかいガイドライン」は、こうした方法で順次提案者に作成依頼を図りながら、その内容を増やしていく
- ③ 並行して開催する「木づかいライブ・スギダラキャラバン」は、「木づかい」推進のリーダー役を務める根羽村森林組合がまとめ役となって、里山市民グループ・地元工務店・地域の団体等と連携しながら、流域内の様々なイベントとジョイントを図り、地域に活力を生み出す元気な人の輪を育成する
- ④ 「木づかいライブ・スギダラキャラバン」開催を通して、「森づくりガイドライン・木づかいガイドライン」等の森づくりと木づかい情報を発信して、矢作川流域の森林資源・木づかい推進活動を紹介しながら、森や木づかいのファンを増やしていく
- ⑤ 同時に、木育アイテムや「どこでもシリーズ」等スギダラ商品の開発を図りながら、矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を広く市民に提案して、その普及と定着を図る
- ⑥ こうした楽しい「木のある暮らし」の普及を基本として、市民自らのアイデアと行動で身近なあらゆる生活空間をスギダラケにする市民活動を生み出し、「人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす 森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイル 矢作川デイズ」を確立する
- ⑦ 具体的な活動内容は、別紙「山部会 木づかいガイドライン作成の取組整理表」に掲げた内容等とし、これらの実施内容もそれぞれの事業主体に応じて「木づかいガイドライン」の掲載していくものとする

「木づかいガイドライン」の意図していること

- ① 市民、行政、業界、研究機関の各関係者と有志が流域内の「木づかい推進」に一体感・共感・共通認識を持って取り組むこと
- ② 現在流域内の各地で行われている様々な立場の方の魅力的で楽しい「木づかい」の取りみを「見える化」すること
- ③ 「見える化」された木づかい推進活動の有志の方々と「人の輪」をつくること。「繋ぐ」ことがとても大切で、ここに流域で取り組む市民活動化の意義がある
- ④ その「人の輪」による様々な化学反応により、流域内の各地で市民に「木づかい」に対する魅力や楽しさを伝え、共感と活動を呼び起こすこと
- ⑤ 木づかい提案者ひとり一人の培ってきた森や木に対する経験値を重視し、提案者とその受け手がチームとなって、木づかいの主役と立役者のコンビで木の魅力を発信していくこと。
- ⑥ 山村担い手事例集にあるような様々な地域の様々な山村・里山活動家が「木づかい推進」というテーマで「繋がり」、それぞれが主役になって「木づかいネット網」として連携し、すべての年代層を対象にした「木づかい」の原体験を与えること
- ⑦ 「木づかいガイドライン」を手にとると、すぐに行動したくなるような「さあ～しよう」という市民目線に沿った提案とすること
- ⑧ 日本人として木の文化を身近なものにすること

3 木づかいガイドライン作成依頼について

①業界編 根羽村森林組合 矢作川流域で木づかい推進を先導し、幼年時から社会人に至るまで、人生のあらゆる時間と場所で木づかいの場を創造する

NO	区分	作成依頼者	さあ~しよう	想定対象
1	業界	根羽村森林組合	木っころで遊ぼう	ア
2			森を歩いて川で遊ぼう	アイ
3			積木で遊ぼう	イ
4			木はがきを書いてみよう	イ
5			弓矢・木のペンダント・表札を作ろう	イ
6			木の科学実験にチャレンジしよう	イ
7			動く木のおもちゃを楽しもう	イウエオ
8			地下足袋と鉈を購入して、間伐や山仕事をやってみよう	イウエオ
9			様々な木工事にチャレンジしよう	イウエオ
10			流域ものさしを作って「私の流域物語」を書いてみよう	イウエオ
11			輪っばづくりにチャレンジしよう	イウエオ
12			木の器を使ったお弁当販売をしてみよう	ウエ
13			林業の搬出現場を見学しよう	ウエオ
14			製材工場を見学しよう	ウエオ
15			地域材の住まいを見学しよう	ウエオ
16			森林をテーマにした研究にチャレンジしよう	エ
17			立木のヤング係数を調べよう	エ
18			物置をセルフビルドしよう	エオ
19			小屋をセルフビルドしよう	エオ
20			里山と都市公園でプレイスメイキング(木の魅力によって人々を笑顔にする場所のカづくり)にチャレンジしよう	エオ
21			地域材の家・建物を訪ねて木の魅力に触れよう	エオ
22			住まいの性能や将来の自分の家を考えてみよう	エオ
23			地域の材で木の家を建ててくれる工務店を訪ねよう	エオ
24			自分の家を地域の木を使って建てよう	エオ

注) 想定対象及び事例

- ・ 原体験を与えたいメインの年代層 「原体験の大切さは H25 プレーンストーミング」より
- ・ ア幼年 イ小・中 ウ高校 エ大学 オ社会人「H26 ライフステージ別アタック」より
- ・ 様々な事例は H27・28 「木づかいライブ スギダラキャラバン」等の実績より

②市民編 山村担い手事例集からの木づかい推進提案

集	N0	取り上げられた方	想定 さあ~しよう
I	1	根羽村森林組合	前記のとおり
	2	ねば杉っこ餅	「根羽のはこいり娘」弁当を楽しもう 自家制しいたけ栽培にチャレンジしよう
	3	根羽村猟友会	木を使って獣を捕獲してみよう
	4	恵南森林組合	地域の森づくりを学ぼう
	5	串原林業	自分たちの力で林業にチャレンジしよう オーダーメイドの山づくりをしよう
	6	NPO 法人 奥矢作森林塾	炭焼き、河川・公園環境整備、古民家リフォーム、里山体験にチャレンジしよう
	7	NPO 法人 福寿の里自然倶楽部	エコツーリズム アライダシ原生林を訪ねよう 教育体験プログラムをつくろう
	8	矢作川水系森林ボランティア協議会	森の健康診断を学び実践しよう
	9	とよた森林学校	これからの森林活用と林業を学び山仕事に チャレンジしよう
	10	とよた森林学校 OB 会	親子で自然観察会に参加してみよう
	11	とよた都市農山村交流ネットワーク	山里の知恵を学ぶ様々な農山村体験に チャレンジしてみよう
	12	豊森なりわい塾	皆で森林と里山について語り合い、里山生活 を実践して現代の百姓を目指そう
	13	(株) M-easy	日本再発信、若者よ田舎を目指そうプロジェ クトに参加しよう
	14	旭木の駅プロジェクト	木の駅プロジェクトに参加しよう
	15	千年持続学校	自然エネルギーや大工技術を学びながら住 まいをつくろう
	16	おむすび通貨	子ども夢の商店街で木と物々交換してみよ う
	17	Green mama	子どもは地域で育てる方針のもと、木育を考 えてみよう
	18	農業生産法人 みどりの里	
	19	NPO 法人 中部猟踊会・三州マタギ 屋	
	20	岡崎森林組合	森の魅力とそれを発揮させる森づくりの意 義を考えよう
	21	おおだの森保護事業者会	おおだの森を皆の力で名勝地にしよう
II	22	木の駅ねばりん実行委員会	木の駅プロジェクトに参加して村のおじい とおばあさんの心と体を温めよう

23	きくの会	木型を使って「からすみ」をつくろう
24	山のハム工房 ゴーバル	炭火でゆっくり乾燥させてサクラの薪でいぶすハムづくりを学ぼう
25	三宅林業	三宅林業の山づくり、木づかいの思想を学ぼう
26	たけうち牧場	ログハウスづくりと地域の景観植栽を学ぼう 価格競争しないフェアトレードを考えよう
27	アンティマキ	野山で採取した草木で染物やリースを作ろう 田舎暮らしを語ろう
28	てくてく農園	木や農産物の「おすそわけ」を考えよう ゲストハウスや空き家活用を考えよう
29	あさひ若者会	ふるさと探訪フィールドワークで地域の魅力を感じてみよう
30	あすけ里山ユースホテル	自然観察イベント・里山活動に参加して田舎の豊かさを感じてみよう
31	新盛里山耕流塾	次世代を担う子どもたちに美しい里山を引き継ごう
32	近藤しいたけ園	原木しいたけ栽培を学び実践してみよう
33	こいけやクリエイト	里山で魅力的な活動をされている方々の様々な情報を入手しよう
34	アグロ・プエルタ	畑で使える東屋づくり考えよう
35	とよたプレーパークの会	子どもが主役の公園をつくろう 中高生によるプレイスメイキングを実行しよう
36	NPO 法人 矢作川森林塾	矢作川の竹林伐採による景観整備と河畔林再生に取り組もう 都市部に都市林をつくろう
37	矢作川水族館	川遊びイベントに参加して川の楽しさを見つけよう
38	じさんじよの会	地域に残っている茅葺屋敷を整備しよう 地域の良さを伝えて移住者を引き寄せよう
39	額田林業クラブ	森林所有者が実践する山づくりと、その次世代と行う地域材活用の事例を学びに行こう
40	宮ザキ園	皆で三河紅茶街道をつくろう
41	東幡豆漁業協同組合	海の恵みや浜辺の暮らしの素晴らしさを体験しよう 山から海へ砂を運ぼう
42	佐久島 Oyaoya café もんぺまるけ	薪づくり、小屋づくり、野菜も作って自分の

			力で暮らしてみよう 半農半Xを語ろう
Ⅲ	43	飯伊森林組合平谷事務所	森林施業プランナーの仕事を学ぼう 観光間伐にチャレンジしよう
	44	天下杉	木を使った手品や喜劇の基本を学ぼう 人々の顔を笑顔にするツボを学ぼう
	45	夕立山森林塾	安全で科学的な山仕事の楽しさを学ぼう
	46	おいでん・さんそんセンター	林業を生業にする「半農半林塾」にチャレンジしよう 田舎だから住みたいという社会をつくろう
	47	野外保育とよた 森のたまご	森の中で一日を過ごす「森のようちえん」を様々な場所で展開しよう 子どもも大人も一緒に成長しよう
	48	農村舞台アートプロジェクト実行委員会	豊田市の里山に存在している農村舞台をもっと活用しよう
	49	稲武山里体験推進協議会	自然体験、工芸体験、味覚体験等の魅力的体験を発掘して、里山の素敵な時間を楽しもう
	50	老人福祉センターぬくもりの里	やさしい美術作戦事業を発展させよう
	51	あさひ森の健康診断	子どもたちと行う地域住民主体の森の健康診断を広めよう 天然林も調査してみよう
	52	あさひ薪づくり研究会	自ら付加価値をつけて薪販売による収入を得よう
	53	有間竹林愛護会	矢作川の河畔の景観を良くし、散策ができる遊歩道をつくろう たけのこ採りにチャレンジしよう
	54	あすけ聞き書き隊	お年寄りに昔の木づかいを聞いてみよう
	55	山里センチメンツ	
	56	しもやま再来るプロジェクト	自転車ラックや関連企画と景観整備で地域の魅力を高めよう
57	コレカラ商店・コレカラ農園・コレカラご飯	人がやってもらいたいことをやってみよう というライフスタイルで自立しよう	
58	First-hand	国産無垢材の家具と暮らしの道具に会いにいこう 人と木をつなげるプロジェクトを学ぼう	
59	額田木の駅プロジェクト	木の駅プロジェクトで山も地域も元気になろう	
60	日近太鼓	木の打楽器、太鼓をもっと楽しもう	
61	烏川ホテル保存会	烏川ホテルの里を皆で管理してホテルを楽しもう	

	62	岡森フォレストーズ	山の自然や山仕事、山里暮らしの日常明るく歌おう しんどい仕事の中でも楽しくやろうぜソウルを広めよう
	63	蒲郡市漁場環境保全協議会	豊かな魚場づくりを山からの視点で考えよう
	64	島を美しくつくる会	自然のままとアートの世界の木づかいを考えよう

平成 29 年 月 日

(案)

関 係 者 各 位

矢作川流域圏懇談会

山部会座長 蔵治 光一郎

「木づかいガイドライン」等の原稿作成準備について(協力依頼)

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国土交通省豊橋河川事務所所管の「矢作川流域圏懇談会」では、長野県から愛知県に至る矢作川に関連する様々な課題を解決し、流域にすむ私達の暮らしを豊かにするため、平成 22 年度から山、川、海の 3 部会を創設して、市民や各関係者が定期的に集まって検討を進めています。

特に山部会においては、上流域の森林資源を下流域で活用することが、森林整備の推進や水源かん養機能の発揮、地域振興に結びつくことから、「山村担い手育成」、「森づくり」「木づかい推進」をテーマに継続的な活動を展開しています。

そこで今後、矢作川流域内で「山村担い手育成」、「森づくり」、「木づかい推進」活動をより積極的に展開していくきっかけとして、皆様ひとり一人の先進的な取り組み・考え方を「木づかいガイドライン」等として取りまとめ、広く流域市民に紹介していきたいと思っております。

ついては、当趣旨をご理解いただき、下記のとおり原稿作成の準備をしたいと思っておりますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 事例紹介原稿 別紙のとおり
記入できるところのみ、記入してください
- 2 提出期限 平成 29 年 6 月 30 日までに提出してください（メール可）
- 3 原稿作成 提出いただいた内容を基本に、後日聞き取りのためお伺いします

〒441-8149

愛知県豊橋市中野町字平西 1-6

国土交通省豊橋河川事務所

担 当

TEL 0532-48-8107

FAX 0532-48-8100

Email uno-t85aa@cbr.mlit.go.jp

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット (市民編案)

区 分		内 容			
さあ~しようのテーマ					
いつ					
どこで (位置図)					
内 容					
対象者					
対応する者					
面白い点 魅力的なところ					
必要な時間					
必要な金額					
準備するもの					
イメージ (映像)					
お薦めポイントは					
参加者からのレビュー					
対象年齢	衝撃度	神秘度	リピーター率	安全性	ステージ表

4 「木の魅力と楽しさを伝える木づかいライブ・スギダラキャラバン予定」

NO	イベント名	開催日	場所	備考
1	野底山森林公園 さくら祭り	4/16 9:00～15:00 1名	飯田市 野底山森林公園	おもちゃ 今
2	オールアイシン家族祭り	4/23 8:00～15:00 6名	刈谷市 アイシン高丘工場	表札
3	Tフェイスイベント(広場) スーパーキッズディ	5/5 10:00～15:00 1名	豊田市 Tフェイス	おもちゃ
4	うるぎ星の森音楽祭	5/20 12:00～20:00 7名	売木村 うるぎ星の森キャンプ場	ペンダント、表札
5	NHK イベント	5/20・21 1名	名古屋市 栄	おもちゃ
6	国際ウッドフェア	5/24～26 10:00～16:00 日替わり 3名	長野市 ビッグハット	おもちゃ
7	岐阜女子大住居学専攻研修	5/27～28 10:00～16:00 1名	根羽村 森沢 ネバーランド	物置セル フビルド
8	あそべる豊田プロジェクト	6/3～4 10:00～15:00 1名	豊田市 Tフェイス 西公園	囲碁、将棋
9	明治用水 表札づくりイベント	6/18 10:00～12:00 2名	安城市 水の環境学習館	表札
10	職人村 表札づくりイベント	6/25 10:00～15:00 2名	飯田市 風越子どもの森 公園	表札
11	安城市農家民泊	7/26～27 10:00～16:00 6名	根羽村	木工作
12	〃	8/1～2 10:00～16:00 6名	根羽村	〃

13	アンフォーレ クールチョイスフェス	8/19~20 10:00~16:00 8名	安城市 アンフォーレ	おもちゃ、 ペンダン ト、表札、 ブランコ、 オセロ、将 棋、囲碁、 ガゼボ、ウ ッドデッ キ、ベン チ、テーブ ル、バーベ キューグ リル、押し ずし
14	明治用水水源の森学習会	8/27 11:00~14:00 内容未定	根羽村内	森林学習
15	安城市歴史資料館展示	10/7~8 10:00~16:00 8名	安城市 歴史資料館	おもちゃ
16	安城市明祥プラザ祭り	11/11~12 10:00~16:00 未定	安城市 明祥プラザ	おもちゃ

5 木を使った市民参加型プレイスメイキング木づかいライブについて

項目	内容
プロジェクト名	大好きな本、皆に読んでもらいたい本をもって集まろう 木づかいライブ 木のブックボックスによる速攻「まちかどライブラリー」づくりプロジェクト
企画タイプ A	本の交換 持ってきた同じ冊数を交換する(ブックボックス分の交換)
” B	本の寄贈 本を寄贈して「まちかどライブラリー(貸出可)」をつくる
” C	本の販売 自分で値段をつけて販売する(委託あり)
” D	本の紹介 自分の一押し本を人に紹介する(蔵書として持ち帰る)
必須項目	①統一様式でブックレビューをつけること ②木のサイズ統一ブックボックス(背の高さで規格決定)を使うこと ③木のサイズ統一ブックボックス使用により市民参加で設置・撤収が簡易なこと ④世代を超えて木の空間により人の輪がつけられるプレイスメイキングであること ⑤木のブックボックスにより個人蔵書が機能的に整理されること
場 所	豊田市駅前 Tフェイス前広場
時 期	10～11月(とよたミライ塾参加・あそべるとよたプロジェクトの一環)
予定スタッフ	根羽村森林組合、矢作川流域圏懇談会山部会、本好き市民、地元書店、図書館
ブックボックス	30mm厚スギ板を使用
関連木づかい	どこでも簡易テーブル、どこでも簡易ベンチ、どこでも個人読書イス、ガゼボ、どこでもバンブードーム、どこでもコーヒースタンド、どこでも紙芝居ボックス、どこでもプランコ、どこでもウッドデッキ、なんでもボックス、どこでもオセロ・将棋、囲碁、どこでも人熱コタツ(お湯なし足湯)、動く木のおもちゃ等
新木づかい提案	動きスギ(桁材による長い木のベンチ)、よろい壁、木のプランター
近隣協力関係者	Tフェイス、豊田市矢作川研究所、耕ライフ、豊田市商工観光課

山部会、川部会、海部会が一体となった「流域の魅力を創造する市民参加型プロジェクト」について

①矢作川流域ものさしと私の流域物語を使って、ひとり一人が流域の魅力を発信する

山部会、川部会、海部会と一緒に「矢作川流域ものさし」を数本作成し、他部会と「ものさし」交換する。発展型は、流域活動が盛んな山梨県・神奈川県道志川流域等とコラボして、流域概念を矢作川以外にも広げる。流域の魅力を流域住民がお互いに伝え合うように、地域紹介・地域自慢となる「私の流域物語」を作成し、それをPDFで配信または耕ライフ別冊号で「私の流域物語」として特集して、きっかけづくりを図る。そこから継続できる市民労働参加型プロジェクトをブレンストーミングにより検討する。

②山部会どこでもシリーズを使った旬の時期の旬のお祭りを開催する。矢作川流域まつり
旬の時に旬なことをそれぞれの部会が協力して相乗りイベントを行う。矢作川流域の山、川、海の魅力を感じさせるための市民参加型イベントを考える。

山の恵み	山菜、山取り緑化木、山の丸太、しし鍋、どこでもシリーズ、樹木しらべ
山の生活	木のチェーンソー伐採・トリトンによる加工・木工製作して販売
川の恵み	鮎、船下り、スギ和船づくり、魚つかみ、透明度しらべ、生き物しらべ
川の生活	投網、竹林整備、ウナギとり
海の恵み	魚、貝、海産物、海のきらめき
海の生活	魚とり、海辺歩き、夕焼け鑑賞、堤防釣り

根羽村森林組合で新緑の頃「森と川と海の感謝祭」を開催する

豊田橋下広場で「川と森と海の感謝祭」を開催する

東幡豆漁業協同組合で「海と川と森の感謝祭」を開催する

③流域の魅力を創造する市民創造・労働参加型プロジェクトに取り組む

山村担い手事例集の方々を核として市民創造・参加型プロジェクトを発進させる。

茶臼山から矢作川河口までの自転車ルートを開拓し、森林組合、川漁業協同組合、東幡豆漁業協同組合が中継施設を斡旋する。矢作川の流れに沿って自転車スタンドの設置と活動拠点協力店を募集して、そこに立ち寄ると木と川と海の記念品をもらえるようにする。

水源の歩道づくり、遊休農地での苗木づくり、里山の植栽、その他

④市民労働参加型プレイスメイキングプロジェクトを考える

山の部会プレイスメイキングセットを矢作川流域のいくつかの公園施設を拠点として展開できるように、行政に協力を求め、川部会と海部会共同で展開する。

どこでも吊り橋、どこでも六畳ハウス設置、テーマ別山小屋、香嵐渓型プレイスメイキング

